



学校
だより

月にみがきて

令和6年2月22日
千曲市立更級小学校
2月号②

<文責>

教頭：青木 猛

来た!! 大谷 翔平 選手からの贈り物

とうとう来ました。更級小学校に大谷翔平選手が送ってくださったニューバランス（メーカーの名前）のグローブ。それを紹介する全校集会が行われました。



届いた大谷選手からのグローブ



全校 お披露目キャッチボール



右用(大)1、右用(小)1、左用1

【全校集会での校長先生のお話から】

大谷選手は、自分が充実した人生を送る機会を与えてくれたものが野球というスポーツだったことや、このグローブが私たちの次の世代、つまりみなさんたちに夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいると語っています。人によっては野球が苦手な人もいるかもしれませんが、最後の「野球しようぜ」の言葉を、「〇〇しようぜ」に置き換えて考えてみたらどうでしょうか。〇〇に入る言葉は、自分が好きなこと、興味を持っていることなら何でもいいと思います。大事なものは、それを努力し続けることです。

さて、大谷選手が高校入学後に書いたマンダラチャートというものがあります。マンダラチャートとは、81マスに区切った紙の真ん中に数年後のなりたい自分の姿を書き、それを達成するために必要なことを周りに広げて書いていくものです。これが実物の写真で、見やすくまとめたものがこの写真です。大谷選手が憧れた菊池雄星選手は、ドラフト会議で6球団が指名したので、それを上回る8球団としたのでしょうか。大谷選手は高校3年間、自分が決めた目標に向かって努力を惜しまなかったようですが、本当は大の練習嫌いだっただけで、あるインタビューでは「本当は練習したくないんです。毎日ゲームだけして、試合に行ったら打てるというなら、それでいいじゃないですか。でも僕はやらないと打てないので、練習やりますけどね」と語っています。努力し続けることは大変です。本当はやりたくないと思う気持ちが出てきても不思議ではありませんが、自分は練習しないと打てるようにならないので練習をやると決め、それを1日も欠かさず続けた結果が、世界で一番のアスリートと言われる、今の大谷翔平選手です。

3学期の始業式では、ONE PIECE 作者の尾田さんについて話しましたが、尾田さんも大谷選手も、自分で決めた目標に向かって努力し続けている点は全く同じです。努力した積み重ねが、今の2人の活躍する姿につながっているのだから、みなさんもぜひ努力し続ける人になってほしいと思います。

では、6年生の代表者にグローブの使い始めをしてもらおうと思います。代表の人は出てきて、軽くキャッチボールをしてみてください。ありがとうございます。使ってみてどうでしたか？今日から、各学年へ順番にグローブを回していきます。手にはめたり、柔らかいボールで順番にキャッチボールしたりしてほしいのですが、今は校庭が泥だらけなので、体育館でやる体育の授業の最初などに使うようにしてください。他にも、ここに書いてあることを守って大切に使い続けてくださいね。

自分が好きな「〇〇しようぜ」に向け、みんなでがんばる姿を期待しています。

大谷翔平選手からのメッセージ

ロサンゼルス・エンゼルス・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです、

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に、このグローブが私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校で互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただけたら幸いです。

この機会に、グローブを寄贈させていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

「学校をよくするためのアンケート(自由記述より一部抜粋)」

○朝の登校時に、挨拶をしてくれたり、きちんと一列に並んで歩いている点は良いところだと思います。

○登校班の待ち合わせ場所まで送っていくと挨拶してくれる子が増えました。

【学校より】今年度、児童会では「挨拶」に力を入れて取り組んでくれました。その具体の姿が地域や保護者の方の前で発揮できてとてもうれしく思います。また、今年度2回交通安全教室を行えたので、子どもたちの意識の高さに結びついていると思います。

○帰宅後、外遊びをする子が少ない事が全体的気になります。

【学校より】コロナ禍での生活スタイルから脱しきれていない様子が伺えます。感染性の罹患もなかなか収まりませんので、少し長い目で見ていただけたらありがたいです。

○子供達の学校内での表情が乏しい。詰め込みすぎのように思うときがある。疲れが出ていて帰宅後の地域遊びなどがみられなく寂しいと近所の方からのお話があった。教育と子供らしさのバランスをもう少し考えていただきたい。

【学校より】感染症の疾患予防で、マスクを常にしているため、表情の読み取りには苦慮します。ただし、子どもたちの「知・徳・体」のバランスのある教育活動が必要だと考えます。いただいたご意見をもとに「知・徳・体」が具現できるように、「学び合い」で子どもが思わず言ったり、したくなったり、笑顔になったりする場面づくりを学校生活で増やしていきます。

○パソコンは見てないので わかりません

【学校より】学校の情報やお便りは、パソコンだけでなく、紙媒体でもお伝えしていくようにします。何か、ご要望があれば学校へご連絡ください。

※貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後の更級小学校の教育活動に生かして参ります。なお、全体の傾向につきましては、別紙でお配りした「令和5年度学校自己評価アンケートのまとめ」をご覧ください。

【地域・保護者の皆様へ】

「さらしな楽校」についてのプリントを「学校だより」とともに配布しました。来年度実施予定です。なお、参加申し込み等の詳細につきましては、3月に配布・回覧する案内通知をご覧ください